

令和4年度第3回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議録

1 開催日時 令和4年11月2日(水) 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	加藤 緑	委員	武井 千尋
委員	高梨 勝智	委員	門井 祐介
委員	瀬谷 眞	委員	大熊 賢滋
委員	柳瀬 芳枝	委員	細谷 由子
委員	福島 桜子	委員	馬場 武敏
委員	三枝 加代子	委員	市原 幸子
委員	神崎 保	委員	土田 由圭

4 欠席委員

副委員長	小林 清子	委員	田中 直子
委員	秋山 恵子	委員	清水 和也
委員	中村 博子		

5 出席職員

市民子育て部長	千田 和也
子育て支援課長	近藤 英明
子育て支援課子育て環境推進班長	浦邊 宜文
子育て支援課こども家庭班長	高石 元気
子育て支援課子育て環境推進班 主査	深井 洋明
子育て支援課子育て環境推進班 副主査	川上 健次郎
保育幼稚園課長	山中 千康
保育幼稚園課副課長(施設管理班長)	今村 豪
保育幼稚園課副課長(認定・給付班長)	森本 芳弘
健康推進課すこやか親子班長	牧野 恵美
学校教育課副参事(指導班長)	磯部 正史
学校教育課学事保健班長	松尾 晋治

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

- (1) 子育てアンケートの結果について
- (2) 子育て応援プランの中間見直しについて

8 議事

1 開会

2 委員長挨拶

※委員長より挨拶

3 議題

議題（１）子育てアンケートの結果について

加藤議長

次に、議題（１）子育てアンケートの結果について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

加藤議長

ありがとうございました。

今、議題（１）子育てアンケートの結果について、説明がありました。

それでは、委員の皆様から何かご質問、ご意見等ありませんか。

福島委員

最後の自由意見のところ、具体的に検討していこうかなという事項があれば教えていただければと思います。

事務局

いただいた意見の多くは個別の地区に対するものが多かったと思います。「他の自治体ではこういう施策を実施しています」というような意見もありました。現在の市の財政状況を考えると実施するには難しい部分もありますが、今後の計画の中で検討していく必要があるのかなと感じております。また、多かった意見として屋外での遊び場も特徴的だととらえています。身近な場所での遊び場が求められていますが、一方で防犯などの管理運営をどうするのかという課題もありますので、その辺のバランスを見ていきたいと考えています。

加藤議長

自由意見のところ、継続的に産婦人科や小児科の拡充を求める意見などもありますが、新しく出てきた意見などはありましたか。

事務局

産婦人科や小児科の拡充を求める意見は以前からもありました。特に市内に産婦人科がないという状況については、様々な場面で意見として頂いているところです。整備は難しいところではありますが、近隣の産婦人科へ行くまでの手段に対しての取り組みについて、健康推進課で検討しているところです。

事務局

産婦人科の誘致ですが、君津木更津医師会とも協議をさせていただいていますが、難しい状況でございます。市としては妊産婦や乳幼児期の子育て支援策を検討しております。また、意見の中で一番多かった交通安全のための施策の充実については、小学校ごとに見回りを行い、危険箇所等について市に要望をいただいております。市はそれに対してすぐに対応できるものはすぐに対応し、県や国の対応となる部分は要望をさせていただき、時間がかかるものについては検討をするということで対応しております。

武井委員

18ページの設問7で、今回のアンケートで「感じていない」という回答の人が、次のアンケートで「感じている」という回答になるには、どこを改善したら良いかなど細かい部分は把握できていますか。

事務局

ここ数年の状況を振り返ったときにやはり新型コロナウイルス感染症の影響というのは大きかったととらえています。市の対応といたしましては、子育て世代総合サポートセンターを中心に妊娠期から出産、子育てにかかるまでのライフステージに応じた持続的な支援を進めております。ただし、現場サイドでもっとこうした方が良いというような具体的な内容が来ているものではありませんので、この結果をしっかりと捉えつつ、少し様子を見ていく必要があると感じています。

加藤議長

今回、アンケート用紙がどうなっていたかわかりませんが、項目ごとに自由記述があるのではなく、最後に自由記述があるというような形でよろしいですか。今回のアンケートの目的ですが経年の変化を把握するといった趣旨で行ったということによろしいですか。

事務局

はい、そのとおりです。

加藤議長

他に質問、意見がないようですので、議題（1）子育てアンケートの結果については、終了いたします。

次に、議題（2）子育て応援プラン中間見直しについて、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

加藤議長

ありがとうございました。今、議題（2）子育て応援プラン中間見直しについて、説明がありました。それでは、委員の皆様から何かご質問、ご意見等ありませんか。

門井委員

資料2-②の19ページで、奈良輪小学校については児童が増えていると思うが、令和6年度の80名増の分は小学校の敷地内に学童の施設を設ける計画になっているのですか。

事務局

奈良輪小学校の敷地内へのこれ以上の拡充は難しいと考えております。80名の増については敷地外で整備を考えていますが、できるだけ近くか、離れるのであれば移送手段を考えながら、公募していきたいと考えています。また、学区全体での80名分を1施設にするのか、2施設に分けるのかは来年度に向けて検討していきたいと考えています。

福島委員

実際に来年度、お子さんが小学校に入学する保護者に聞いたのですが、定員以上の応募が来たら抽選になることや利用が決定した場合は断らないでくださいというような話があったようで、不安の声をいくつか聞いている。保護者が心配しないように受け入れの確保ができていますか。

事務局

就学時検診で新1年生に説明する際に、今までは学童を利用する人たちに対して説明をしていたが、今回は就学時検診参加者全員がいる中で説明をしたとうかがっています。資料にもある通り1年生で放課後児童クラブを利用する割合としては約半分程度ですが、全員がいる中で来年度の受け入れ見込み数が何人と説明してしまったので、不安につながっているのだと思います。実際には利用申込者が確定して、学童の受け入れがどこまで可能なのかが決まったうえで、それでも受けきれないということになれば、場合によっては抽選となるべきところだと思います。その辺の部分で初めて小学校に入学するお子さんをお持ちの保護者は不安になったのだと思いますが、調整をしていきたいと考えています。

加藤議長

市は利用したいという人の総数を確保しているということによろしいですか。第1希望には入れないということがあるかもしれないが、利用を希望する人は入れるという考えによろしいですか。

事務局

1つの小学校区に複数の事業者の学童があるのは、奈良輪小学区と蔵波小学校区となります。第1希望、第2希望というのがありますが、複数事業者がある中で互いに調整をさせていただきたいという話はしております。

門井委員

蔵波小学校区で学童を行っているが、来年度は新しい事業者さんを含めて3つの事業者でやっていくこととなる。事業者が増えると受け入れ人数の調整が難しくなる。事業者間での調整も実施していくが、市の方も含めた形で行えると良いと思う。保護者も抽選という言葉が出ると一気に不安になると思うので、これからの課題になってくるのかなと思います。

加藤議長

保育所の入所であれば市に申し込みに行き、市の方で振り分けをしていると思います。保護者としては第1希望に入れなければ、第2希望に、第2希望に入れなければ、第3希望にというように、入れるという安心感があると思います。学童については直接事業者に申し込みを行うので他の団体の様子が見えないということだと思いますが、市の方としては市でコーディネートするのではなくて、学童間で調整するということがよろしいですか。

事務局

学童の募集については広報等で一括して周知しています。ただ、今年度は蔵波小学校区において新たに1箇所の学童の設置を予定しています。ある程度事業者は決定していますが、最終的に建設等が確定しないと、児童の募集は開始できません。その分で既に開設している事業者にしわ寄せがきているということは認識しているところです。新しい事業者が児童の募集をできる段階になりましたら調整していきたいと思います。

また、奈良輪小学校区については児童が増加しているので、2つの事業者に柔軟な対応を

お願いしており、それぞれが実施していく予定となっています。

加藤議長

他に質問、意見がないようですので、議題（２）子育て応援プラン中間見直しについて、承認の採決をとります。賛成の方は挙手をお願いします。

【採決】

加藤議長

全員賛成となりましたので、議題（２）子育て応援プラン中間見直しについては承認することに決定いたしました。

本日の議事はすべて終了いたしました。進行を事務局に戻します。

4 その他

事務局より、平川地区幼児教育・保育施設整備計画の説明会の開催状況等と次回会議の予定について連絡をした。

5 閉会